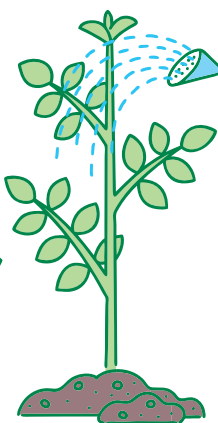


Co-op Mirai Profile

生活協同組合 コープみらい案内

2025-2026



co-op
コープデリ

コープみらい

「ともに」の力で、笑顔の明日を



「ともに」の力で、 あした 笑顔の明日を

あなたは、どんな未来を実現したいですか？

私たちの食や暮らし、環境は日々変化し、

この先も予測できないことが起きるかもしれません。

そんな時代に、生協だからこそ果たすべき役割があります。

組合員・働く仲間がともに掲げる「ビジョン2035」。

メインメッセージは、

“食べるしあわせ、自分らしい暮らし 「ともに」 の力で、笑顔の明日を”。

2035年のありたい姿です。

一人ひとりの助け合いの気持ちと行動、

コープデリグループの事業と活動の総合力、

生産者や取引先、地域の皆さまや行政・諸団体との協力の力。

こうした力が合わさり、

誰もが幸せで笑顔でいられる明日を創っていききたい。

そんな想いを込めた「ビジョン2035」。

実現に向け、私たちの取り組みは続きます。





くらしのなかに、 みらいがある。

コープみらいは、ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうの3生協が
2013年に組織合同(合併)して誕生した、381万人が加入する日本最大の生協です。
宅配、店舗事業を中心に福祉や保障、サービス事業などを通じて、組合員の声に耳を傾け、
一人ひとりのくらしと地域に寄り添った事業を展開してきました。
また、組合員による自主的な活動(組合員活動)のサポートを行い、
事業と組合員活動の総合力で、より良いくらしと地域づくりを目指しています。



組合員の声からさまざまな活動に広がっています

理念

CO-OP

ともに はぐくむ 暮らしと未来

理念は、数十年変わらない、私たちの存在意義、存在理由、使命です。
どんなに社会が変化しても、生協がどうあるべきかを指し示す「北極星」のようなものです。

ビジョン2035

食べるしあわせ、自分らしい暮らし
「ともに」の力で、笑顔の明日を^{あした}

私たちは、助け合いの心と協同の力が生み出す「ともに」の力で
未来をきりひらき、誰ひとり取り残さない社会を創ります

ビジョンは、10年後の目指す姿を具体的な言葉で表したものです。
組合員・働く仲間がともに掲げ、実現に向けた取り組みを進めています。

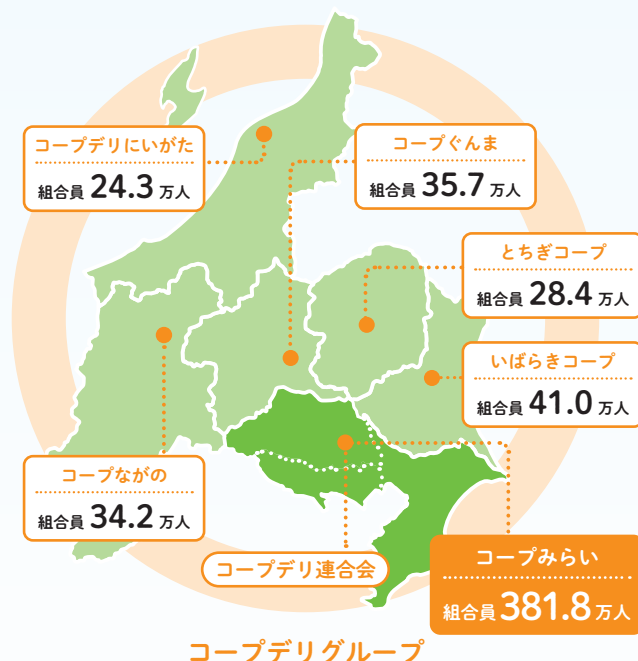
コープみらいはコープデリグループの一員です

「コープ」は、協同組合“co-operative”からきています。消費者が「出資金」を出し、事業や活動の「運営」に参加し、「利用」する生活協同組合(生協)です。一人ひとりの暮らしのさまざまな願いを協同し、助け合いながら実現していく組織です。

コープみらいは、理念・ビジョンを同じくするコープデリ連合会と各会員生協からなるコープデリグループの一員です。事業高は会員生協合計の約7割にのぼり、事業インフラの役割を担うコープデリ連合会と一体的な運営を行うことで、コープデリグループを牽引しています。

生協(消費生活協同組合)とは

組合員による「出資」「利用」「運営」により生協は成り立っています。



組合員数は2025年3月20日現在

コープデリ 宅配 事業



“

つかうほど、じぶんらしく。

いつもの笑顔に、

いつものふれあいを。

”

「つかうほど、じぶんらしく。」

組合員一人ひとりの暮らしに合った商品を、ライフスタイルに合わせてお買い求めいただける2つの宅配コースを用意しています。配達時には毎週同じ担当者が組合員のもとを訪れ、商品をお届けするのはもちろん、ささやかなコミュニケーションを通して“安心”をお届け。

「いつもの担当者とお気に入りの商品と、何気ない会話で笑顔あふれるひとときを。」

私たちが宅配事業を通して、組合員の皆さんとつくりたい日常です。



じぶんらしい生活を支える2つの宅配コース

週1回、食品や生活雑貨など6,000品目以上の中から注文された商品をお届けする「ウィークリーコープ」と、週3日からお弁当(夕食宅配)やミールキットなどをお届けする「デイリーコープ」があります。お気に入りの商品をお選びいただき、暮らしに合わせてお届けします。



配達と見守りで「地域の安心」に貢献

コープデリ宅配は、約4,000台のトラックが同じ曜日、同じ時間帯に、同じ道を通って配達しています。コープみらいは千葉県・埼玉県・東京都の島しょ部を除く全自治体と「高齢者等の見守り協定」等を締結。宅配・店舗事業をはじめとした事業の特性を生かし、行政と連携して「地域と住まう人の安心」のための見守り活動を推進しています。





コープデリ 店舗 事業



品質とおいしさにこだわったコープならではの商品

コープ商品や産直品を中心に、「コープならではの」商品をバラエティー豊かに品ぞろえ。おいしさはもちろん、安心して召し上がっていただけるよう、品質・価格・産地にこだわった商品を多数ラインナップ。店舗専用の惣菜工場「桶川デリカセンター」では、コープならではのおいしさと品質を追求した商品開発を進め、売り場の魅力向上を図っています。



フードドライブで「もったいない」を「ありがとう」に

フードドライブは、家庭で眠っている食べ物や品質に問題がない食品を持ち寄り、地域のフードバンクや福祉団体などに寄贈する活動です。コープみらいのお店には、皆さまから食品をお預かりする専用のボックスを設置しています。

※フードドライブ専用ボックスは一部店舗と組合員施設に常設しています



“

おいしさと安心を、

うれしい価格で。

生活を応援する売り場づくり。”

”

“おいしさと安心を、うれしい価格で。”を事業目標に、毎日の暮らしに役立つ商品がきっと見つかる魅力的な売り場づくりに取り組んでいます。また、お店のタイプも大型のスーパーマーケットやコンパクトなミニコープ、ネットスーパーなどさまざまに展開。お買い物にお困りの方へ移動店舗での販売も行っています。いつでもどこでも、一人ひとりの暮らしに合わせて利用することができ、そのたびに喜んでいただける店舗と売り場づくりをこれからも進めてまいります。

※ネットスーパー、移動店舗は一部地域で展開しています



その他の事業 福祉、保障、 サービス、 エネルギー供給

“

多彩なサービスを展開し、
地域に、社会に、笑顔を広げています。

”

福祉事業



住み慣れた自宅や地域で自分らしく

居宅介護支援、訪問介護、訪問看護、デイサービス、障害福祉サービスなどの提供、(看護)小規模多機能ホーム「コープ夢みらい」やサービス付き高齢者向け住宅「コープみらいえ」の運営を通じて、「住み慣れた自宅や地域で安心して過ごしたい」という組合員の思いに応えます。

保障事業



未来のくらしに寄り添う保障 (共済・保険)

CO・OP 共済は、生協の保障事業として組合員の声をベースに、手ごろな掛金、いざという時に役立つ保障内容、わかりやすい手続きといった改善を常に進めながら、組合員とその家族に寄り添い、役立つ事業を目指しています。また、グループ会社の株式会社コープデリ保険センターは、一般社団法人生命保険協会が実施した「業務品質評価運営」の代理店として認定され、組合員により安心いただける保障を提供しています。

サービス事業



日々のくらしに 役立つサービスを提供

くらしをもっと楽しく、快適に。グループ会社の株式会社コープデリサービスを通して、自分らしくくらしを応援しています。チケット部門は心を動かすエンターテインメントを提供し、くらしのサービス・ハウジング部門は、便利で快適なくらしをサポートします。葬祭部門は故人とのお別れやご遺族の新たな生活を支援します。

エネルギー供給事業



くらしにやさしい コープデリでんき、コープデリガス

コープデリグループの事業所に設置した太陽光発電パネルで発電した電気を含む「再生可能エネルギー100%メニュー」と、「ベーシックメニュー」の2種類からなる「コープデリでんき」を組合員に提供しています。また、経済メリットを追求した都市ガス事業「コープデリガス」も提供しています。

商品開発・管理



“

フードチェーン全体で食品の安全性と品質の確保に努め、普段の暮らしに役立つ商品提供を通して、健康的な生活と豊かで楽しい食卓を応援します。

”

組合員の“想いをかたちに”したコープ商品

コープ商品は、日本生活協同組合連合会が中心に開発する生協のプライベートブランド。「安全性の確保」「確かな品質」「利用しやすい価格」「わかりやすい情報提供」を基準として開発・供給しています。商品を介した組合員とのコミュニケーションを通して、暮らしに貢献できる価値ある商品づくりに努めています。



声をかたちに、より良い商品へ

日常の暮らしの中の気づきを、組合員の声として寄せていただくことが、コープへの参加となり、商品の改善へとつながります。2024年度に集まった声は、コープデリグループ全体で約13万件。いただいた声を既存商品の改善、新商品の開発、サービスの向上などに役立てています。



組合員・生産者とともに取り組む「産直」

「産地・生産者のわかる商品を安心して食べたい」「環境にやさしく、おいしい商品を届けたい」という組合員・生産者双方の願いを実現するため、1970年代に「産直」の取り組みが始まりました。コープデリグループは、組合員と生産者の多面的な交流・パートナーシップを構築し、持続可能な農畜水産物の生産と消費を推し進めています。



安全と安心を見守る商品検査センター

コープデリ連合会の商品検査センターでは、残留農薬、放射性物質、微生物、食品添加物、食物アレルギーなど年間約1万5千件の検査を行っています。法令および自主基準に適合しているかなど、商品の状態を科学的に把握し必要な改善を進めています。組合員から寄せられたお申し出に関する検査も行っています。



トピックス

「環境」と「人」を未来へつなぐ「産直はなゆき農場有機牛」

牛になるべくストレスを与えず、自然環境への負荷を減らして飼育する有機 JAS 認証牛の生産者支援を、北海道で進めています。この「産直はなゆき農場有機牛」の取り組みは、日本の持続可能な畜産業とこれからの畜産業の未来にもつながるチャレンジです。生産者から有機牛を子牛の段階で購入し、生産を預託。生産にかかる費用をコープデリが負担し、有機畜産事業を継続的に支援するとともに、若手生産者の育成にもつなげていきます。



組合員活動



コープみらいは、組合員一人ひとりの「〇〇したい」という気持ちを大切にしたい、つながりの場をたくさんつくっています。

組合員の方はもちろん、地域に住むさまざまな方が、

「語らい、笑いあい、そしていざという時に支え合い、助け合える」

—— そんな安心と笑顔があふれるコミュニティをこれからも広げていきます。

地域の誰もが集える居場所 「みらいひろば」

組合員や地域の方など誰もが参加できる地域の居場所。コープ商品を囲んだおしゃべりや、くらしに関する情報交換などの交流の場として、各地域で毎月開催しています。



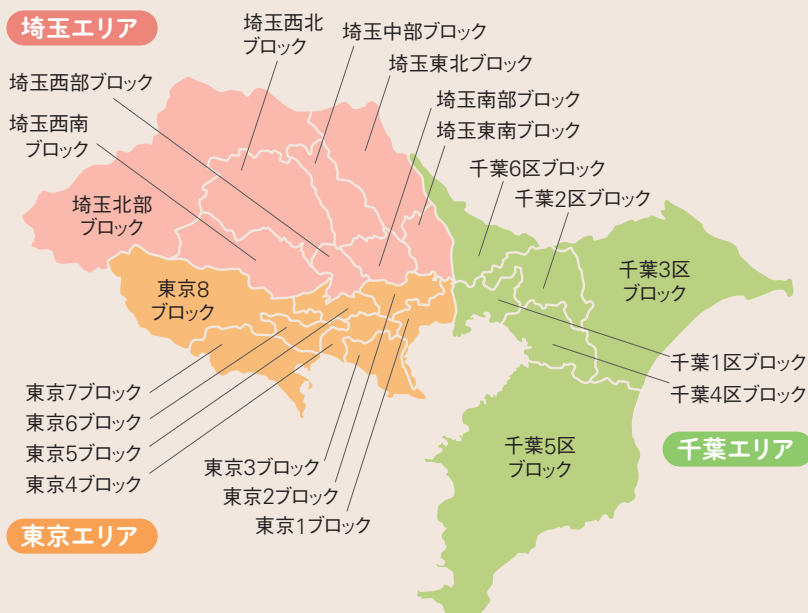
子育て中の方同士で つながる「子育てひろば」

「育児の相談相手がない」「悩みを共有したい」といった思いを抱える子育て中の親子が、気軽に出会い交流できる場を各地域で運営しています。



組合員活動を支える 22のブロック

コープのファンづくりや地域社会づくりに参加し、組合員活動(参加とネットワーク)を進める地域の単位として、コープみらいのエリアを22のブロック(地域)に分けて委員会を設置。ブロック委員は組合員の立場で地域の組合員活動をサポートしています。



組合員同士の助け合い 「くらしのたすけあいの会」

くらしの中でちょっとした手助けが必要な組合員と、「自分ができることを生かしたい」と援助を希望する組合員をつなぎ、組合員同士で助け合う取り組みです。



活動サポーターによる 「出前授業」

食育や環境、防災・減災など、体験しながら楽しく学びたいという地域のニーズに応えた学習プログラムを用意。活動サポーターが学校などで「出前授業」を行っています。



組合員の自主的な活動を サポート「地域クラブ」

食、子育て、福祉、平和など、くらしに関わるテーマで組合員と地域の方が主体的につながり、継続的に活動するグループを「地域クラブ」としてサポートしています。



コープみらい財団の社会貢献

奨学金給付事業

2015年に設立した一般財団法人コープみらい社会活動財団(略称:コープみらい財団)では、事業の柱である、ひとり親家庭(両親のいない方も含む)の高校生・高等専門学校生への返済不要の「給付型奨学金事業」を行っています。奨学金の財源は、事業に賛同いただいた、3万人※を超える奨学金応援サポーター(組合員)の募金です。多くのサポーターに支えられ、2025年度の奨学生(3学年の合計)は1,724名になりました。

※2025年4月現在



社会貢献活動助成事業

もうひとつの事業の柱である「社会貢献活動助成事業」は、「くらしと地域づくり助成」として地域の活性化や地域・生活文化の向上、環境保全等の課題に取り組む市民団体を助成し、これまでに700以上の団体に約8,000万円の助成を行ってきました。

また、フードバンクや社会福祉協議会などを通じて生活困窮者へお米やお菓子を寄贈する取り組みも実施しています。

持続可能な社会へ

SDGs



“

一歩ずつ、持続可能な社会に向かって歩いていく。
笑顔あふれる未来へつなぐために。

”

未来へ
つなごう

コープみらいは、2030年に向けた世界共通の取り組みである
SDGsの目標達成に向け、コープデリグループとして5つの重点課題を設定。
「未来へつなごう」をスローガンに、持続可能な生産と消費や、
地域社会や組合員のくらしで生まれた課題の解決のために、
事業と活動を通してさまざまな取り組みを推進しています。

01 持続可能な生産と消費のために

取り扱う商品について、原料調達から生産・消費までを通して、
人権や環境などに配慮した「責任ある調達」ができるよう取り
組みを進め、商品とくらしのあり方を見直していきます。

SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



4つのプロジェクト

組合員がコープの商品利用を通じて、生物多様性や自然環境の保護、持
続可能な農業の推進、アフリカ・途上国の子どもや母親の支援など、社会貢
献に参加する「4つのプロジェクト」に取り組んでいます。



美ら島応援もずくプロジェクト



佐渡トキ応援お米プロジェクト



お米育ち豚プロジェクト



ハッピーミルクプロジェクト

02 安心して暮らせる地域づくりのために

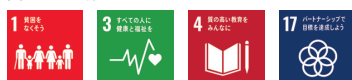
くらしの安心と地域を支える生活インフラとしての機能を果たし
続けられるよう、自治体や地域住民・諸団体と連携し、さまざま
な取り組みを進めています。

SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



災害復興支援、生活困窮者支援

地震や豪雨などの自然災害が頻発する中、組合員への支援募金の呼びかけや、
復興に向けた現地への職員派遣など、被災地・被災者支援に取り組んでいま
す。また、フードバンクなどを通じた食料支援、ひとり親や両親のいない高校生
を対象に返済不要の奨学金給付事業を行っています。



03 人にやさしく誇りが持てる組織を目指して

一人ひとりの人権・多様性が尊重され、誰もが安心して働ける職場づくりを進めます。

SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



働く人と働き方の多様性を尊重

多様性（ダイバーシティ）が尊重され、それぞれの個性や能力に応じて活躍でき、自信と誇りを持って生き生きと働ける職場づくりを大切にしています。ジェンダー平等が実現され、性差に関係なく職員が役割発揮できる職場をつくります。



健康経営優良法人2025（大規模法人部門）に認定

04 100年後の地球のために

再生可能エネルギーの利用・普及を進め、地球温暖化対策を進めます。

SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



環境・温暖化防止

温室効果ガス削減計画を策定し、2030年にCO₂排出量を2013年度比で60%削減、2050年には排出量実質ゼロを目指す目標を掲げています。物流センターなどの施設に設置した太陽光発電パネルや、店舗から排出される食品残さの一部を利用したバイオガス発電の電気など、再生可能エネルギーの創出と活用を進めています。



電動化（EV導入）を主とした車両燃料の低炭素化を推進

05 世界中の人々の平和で健康な生活のために

世界から飢餓や貧困をなくし、世界平和を実現できる取り組みを進めます。

SDGs 重点課題

主たる目標



関連する目標



ハッピーミルクプロジェクト

アフリカでは自然災害や栄養不良などにより、多くの子どもたちが命の危険にさらされています。コープデリグループは幼い命を守るため、「コープの牛乳で子どもたちを笑顔に」を合言葉に、2008年にハッピーミルクプロジェクトをスタート。牛乳の売り上げの一部をユニセフに寄付し、アフリカの子どもたちの栄養改善を支援しています。



ごあいさつ

代表理事 理事長 くまざき しん 熊崎 伸



コープみらいの事業と活動へのご協力・ご支援に心より御礼申し上げます。

コープみらいは、コープデリグループの一員として同じ理念・ビジョンを掲げ、持続可能な社会づくりに取り組んでいます。理念・ビジョンとSDGsの目指す方向は同じです。私たちは協同組合の特徴と強みを生かし、SDGsの実現に貢献するため、2021年に「コープデリグループのSDGs重点課題」を策定しました。「未来へつなごう」をスローガンに、事業と活動を通じて課題の達成を目指します。

2025年は国連が定めた「国際協同組合年」です。協同組合は、SDGsを達成する上で重要なステークホルダーと位置付けられています。こうした中、2025年5月に「国際協同組合年に当たり協同組合の振興を図る決議」が国会で採択されました。「協同組合はよりよい世界を築きます」をテーマに、協同組合の価値を広げてまいります。

世界各地での紛争の激化、自然災害の発生、物価高・貧困と格差の拡大など、暮らしを取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした中、2024年に日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞されました。コープみらいは理念・ビジョンのもと、ピースアクション

などの平和活動を進めています。2025年は被爆・戦後80年。平和の尊さを再確認し、活動を次世代に受け継ぐ取り組みを広げてまいります。

2024年の能登半島地震・豪雨災害では、組合員の皆さまより4億円を超える募金をお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。コープみらいは助け合いの組織として、被災地で奮闘するコープいしかわへの職員派遣など、被災された方々の笑顔を取り戻すための支援を続けてまいります。

ひとり親・両親がいない家庭の高校生・高等専門学校生を支援する奨学金給付事業では、毎月定額の募金に協力していただく組合員の「奨学金応援サポーター」が3万人を超えました。皆さまの安定した支えが、今年度も1,700人以上の奨学生の夢につながっています。引き続き、皆さまのあたたかいご支援をお願いいたします。

コープみらいは、これからも事業と活動の総合力で組合員の皆さまの暮らしに貢献し、「誰ひとり取り残さない」社会の実現を目指します。生産者・取引先の皆さま、行政・諸団体の皆さまとのパートナーシップを大切に、「ともに」の力で笑顔の明日を迎えられる社会を目指してまいります。

2025年6月

沿革

- 2008年度 ○ 改正生協法施行で都道府県域を越えた生協の合併が可能に
- 2009年度 ○ ちばコープ・さいたまコープ・コープとうきょうによる組織合同検討委員会発足
- 2012年度 ○ 組織合同を3生協の臨時総代会で承認可決
- 2013年度 ○ 生活協同組合コープみらい発足、コープデリ連合会との一体運営開始
○ 組合員数300万人に
○ 3都県で初めて「コープみらいフェスタ」開催
○ 移動店舗事業を千葉県袖ヶ浦市を中心に開始
- 2014年度 ○ サービス付き高齢者向け住宅「コープみらいえ四街道」開設
○ コープデリグループ「ビジョン2025」策定
○ コープみらいカレッジ開校

- 2015年度 ○ 一般財団法人コープみらい社会活動財団設立
○ 「みらいひろば」スタート
○ コープみらいとして初の新店、コープ高倉店オープン
- 2016年度 ○ サービス付き高齢者向け住宅「コープみらいえ中野」開設
○ コープ調布染地店、コープ府中寿町店、コープ中野中央店、コープ指扇店オープン
- 2017年度 ○ 「コープデリでんき」開始
○ コープ中野鷺宮店、コープ東村山秋津町店オープン
○ 店舗に常設型のフードドライブ食品回収ボックス設置開始
- 2018年度 ○ 3都県のすべての自治体と高齢者等の見守り協定締結 ※島しょ部除く
○ 小規模多機能ホーム「コープ夢みらい北本」開設
○ コープみらい財団が給付型奨学金事業スタート

コープみらいの概況

※特記ない限り数値は2025年3月20日現在

名称	生活協同組合コープみらい
設立	2013年3月21日
本部所在地	〒336-8523 埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
事業エリア	千葉県、埼玉県、東京都

出資金

出資金	728億8,561万円
-----	-------------

組合員数・組織率

組合員数	381万8,955人
組織率（総世帯数に対する 組合員世帯の割合）	27.4%

役員体制

代表理事 理事長	熊崎 伸
副理事長	河田 喜一 古賀 摩希子〔非常勤〕
代表理事 専務理事	鳥羽 治明
常務理事（事業管掌）	大川 昌彦
常務理事（宅配事業本部長）	長島 淳一
常務理事（管理・開発管掌）	成田 章二
常勤理事（福祉事業担当）	圓尾 佐智子
常勤監事	木村 隆之

※理事長・副理事長および常勤役員を中心に記載しています（2025年6月5日現在）



経営情報はここから

[https://mirai.coopnet.or.jp/
profile/financial/settle.html](https://mirai.coopnet.or.jp/profile/financial/settle.html)

総事業高・供給高・経常剰余金（2024年度）

総事業高	4,334億2,816万円
供給高	4,211億591万円
うち宅配事業	3,001億5,571万円
うち店舗事業	1,209億5,019万円
利用事業収入	1億3,662万円
福祉事業収入	24億8,046万円
その他事業収入	97億515万円
経常剰余金	99億9,972万円
総資産	2,541億1,833万円
純資産	1,809億4,572万円

職員数

正規職員在籍者数	3,094人
パート職員※在籍者数	10,175人
パート職員の正規職員換算人数	4,515人

※「パート職員」はパート・アルバイト職員、非常勤介護ヘルパー職員の合計です
※コープデリ連合会などへの出向者は含んでいません

事業所などの状況

宅配センター数	76センター
配達車両台数（委託会社含む）	4,132台
店舗数	124店舗
うちスーパーマーケット型	71店舗
うちミニ型	53店舗
介護福祉事業所数	39施設

- 2019年度**
- 「コープデリガス」開始
 - 看護小規模多機能ホーム「コープ夢みらい四街道」開設
 - コープ府中車返店、コープ国分寺内藤店、コープ葛飾白鳥店オープン
 - 台風15号、19号、21号災害の対応と支援活動
- 2020年度**
- 新型コロナウイルス感染拡大の対応
 - 初の多層階センター、コープデリ東葛谷センター、コープデリ町屋センター開設
- 2021年度**
- 子ども・子育て支援基金設立
 - SDGs重点課題「未来へつなごう」策定
 - コープ久喜店オープン

- 2022年度**
- フードバンクなどに米の寄贈を開始（以降も継続）
 - 「コープみらいフェスタ」4年ぶりに開催
- 2023年度**
- コープみらい創立10周年
 - コープ杉並井草店、コープ調布染地店（増床移転）オープン
 - 「健康経営」を宣言、健康経営優良法人2024（大規模法人部門）認定
- 2024年度**
- 「コープデリグループビジョン2035」策定
 - コープ坂戸薬師町店、コープ幕張駅北口店オープン
- 2025年度**
- コープかすかべ東店、コープ川口西店オープン



コープみらいのマスコットキャラクター
“ほべたん”と愛犬のきなこ